

令和 3年 7月15日

各報道機関文教担当記者 殿

## 金沢大学環日本海域環境研究センター 市民講演会「持続可能な海洋環境の保全 能登の里海とSDGs」を開催

金沢大学環日本海域環境研究センターは、下記のとおり市民講演会を開催します。

現在、地球温暖化や越境汚染といった自然環境問題、さらに、少子高齢化などの社会環境問題が累積し、持続可能な社会環境の整備には、自然環境の保全と生業の共生が重要です。今回の市民講演会では、身近な自然環境の能登を対象に市民の皆さんと一緒に、自然環境の現状の理解とその解決に向けて、海洋環境の持続可能な保全・活用を考える機会を提供したいと考えています。

つきましては、事前および当日の取材・報道を、よろしくお願いいたします。

記

### 市民講演会「持続可能な海洋環境の保全 能登の里海とSDGs」

日 時：令和3年7月22日（木・祝） 13：30～15：30

場 所：金沢大学サテライト・プラザ 3階 集会室  
（金沢市西町3番丁16番地）

詳 細：別添チラシのとおり

主 催：金沢大学環日本海域環境研究センター

共 催：金沢大学理工学域能登海洋水産センター

後 援：国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット、石川県水産総合センター、北國新聞社

<本件照会先>

金沢大学環日本海域環境研究センター教授 長尾 誠也 Tel：076-234-6961

金沢大学理工系事務部総務課総務係 米田 一宣 Tel：076-234-6826

主催：金沢大学環日本海域環境研究センター  
共催：金沢大学理工学域能登海洋水産センター  
後援：国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット  
石川県水産総合センター、北國新聞社



金沢大学環日本海域環境研究センターは持続可能な開発目標を(SDG)を支援しています。

# 持続可能な海洋環境の保全

# 能登の里海とSDGs

日時： 2021年7月22日(木・祝) 13:30～(受付13時～)  
場所： 金沢大学サテライト・プラザ3階集会室  
(〒920-0913 金沢市西町3番丁16番地)

## 申込方法

参加希望の方は、下記申込フォーム(QRコードからも可)または076-234-6961(環日本海域環境研究センター事務局)までお申込みください。  
(締切:7月19日(月)\*定員に達しない場合は当日受付を行います)  
申込フォーム：<https://forms.gle/cVywAKUxf8uTL21eA>



## プログラム

- 13:30- 開会挨拶 金沢大学 理事 山岸 雅子
- 13:35- 趣旨説明 金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長・教授 長尾 誠也
- 13:40- SDGsとは 国連大学IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 事務局長 永井三岐子
- 14:05- 七尾湾の貧酸素水塊と水産業への影響 石川県水産総合センター 技術開発部 研究員 仙北屋 圭
- 14:25- 七尾湾における地球温暖化の影響 金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長・教授 長尾 誠也
- 14:45- 能登町で実践展開する持続可能な共創的水産技術開発  
金沢大学 理工学域能登海洋水産センター センター長・教授 松原 創
- 15:05- 里山里海マイスタープログラムの成果と能登の地域活性化  
金沢大学 人間社会研究域 教授 佐無田 光
- 15:25- 閉会挨拶 金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長・教授 長尾 誠也

参加無料  
要申込

### 【お願い】

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で講演を行います。状況により中止の場合はHP上でお知らせいたしますので、随時ご確認ください。当日会場ではマスク着用を必須とし、発熱等風邪症状のある方のご参加はお控えください。

【お問合せ】 金沢大学 環日本海域環境研究センター (〒920-1192 金沢市角間町)  
Tel:076-234-6961 / e-mail: kannihon.ka@gmail.com



## 「SDGsとは」

永井 三岐子

(国連大学IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット 事務局長)

2015年、国連の持続可能な開発サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）。なぜ世界が共通の目標を持つことになったか、環境問題、社会課題を解決しながら経済成長を描こうとするSDGsのもつ意味や背景について紹介します。また能登の里海についてもSDGsの視点から意義や可能性を考えてみたいと思います。

## 「七尾湾の貧酸素水塊と水産業への影響」

仙北屋 圭（石川県水産総合センター 技術開発部 研究員）

貧酸素水塊は海の中の酸素が少なくなり、場合によってはゼロになる現象です。七尾湾はナマコやトリガイ、マガキなど、日本有数の産地になっています。その多くが海底に生息するベントス（底生生物）で、いったん貧酸素化すると致命的な影響を受けてしまいます。こうした貧酸素水塊はどのように発生し拡大するのか、観測事例からご紹介します。さらに水産業への影響と対策についてお話しします。



## 「七尾湾における地球温暖化の影響」

長尾 誠也（金沢大学 環日本海域環境研究センター センター長・教授）

日本海は地球温暖化による表層海水温の上昇が日本周辺海域で最も高く、地球温暖化による生態系・水産業への影響が懸念されています。日本海に突き出た能登半島には、牡蠣の養殖等、石川県の水産業の拠点として重要な海域であり、閉鎖性海域に分類される七尾湾が存在し、環境省等により定期的な調査が行なわれています。本講演では七尾湾の最近の海水温の変動を紹介し、夏季の高水温時における生態系への影響について紹介します。



## 「能登町で実践展開する持続可能な共創的水産技術開発」

松原 創（金沢大学理工研究域 能登海洋水産センター センター長・教授）

能登町は県内屈指の水産都市です。町内真脇地区には、イルカの遺物が発掘された縄文遺跡があり能登町は4000年前から水産物が豊富であったと容易に推測できます。しかし、近年の海水温上昇など環境変化により能登の高い漁業生産量が今後も維持できるという保証はありません。本講演では、「能登の里山里海」を未来へ引き継ぐため、現場ニーズに即対応できる能登ブランドの持続可能な水産技術開発の取り組みについて紹介します。



## 「里山里海マイスタープログラムの成果と能登の地域活性化」

佐無田 光（金沢大学 人間社会研究域 教授）

金沢大学は、能登地域において里山里海資源を活かした人材育成事業に10年以上取り組んできました。マイスターの取り組みを中心として、里山里海を基礎とした地域づくりの潮流を、SDGsと地方創生の観点からあらためて評価してみたいと思います。

### 会場までのアクセス

金沢大学サテライト・プラザ  
〒920-0913 金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内  
Tel:076-232-5343

### 交通案内

- ・バス(北陸鉄道) [JR金沢駅より約5分] → 武蔵ヶ辻で下車後、徒歩 [約5分] (上堤町信号から尾崎神社へ進み、左側)
- ・台数限定で会場駐車場が利用できます。(要問合せ:076-234-6961まで)

